

# 量的研究方法

## 高度看護実践のエビデンスを問う臨床研究

### セミナーの趣旨

臨床現場での”clinical question”を浮き彫りにし、エビデンスを作り上げることが求められており、これらを解決する方法として質的研究方法とともに量的研究方法のスキルの獲得が必要です。看護実践開発のための臨床研究を成功させるには疑問を検証可能な仮説に変換・構造化し、解析するまでの研究設計の質が問われます。看護学の介入研究について改めて考えます。

**日時** 2013年6月23日(日)14:30-17:00

**定員** 440名

**場所** ベルサール神田

**主催** 日本看護科学学会

〒101-0053

東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル3F

### プログラム

14:30	開会の挨拶	理事長 小松 浩子
14:35	最近の臨床試験 研究デザインをどう組むか 看護への応用	東北大学大学院医学系研究科 教授 山口 拓洋
15:25	臨床看護学研究の実際 看護学の介入研究と評価	聖路加看護大学 教授 亀井 智子
16:15	休憩	
16:20	質疑応答 「看護における介入研究の ゴールドスタンダードをめざして」	指定発言者： 東京大学大学院医学系研究科 講師 西垣 昌和 モデレーター： 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 奈良間美保
16:55	閉会の挨拶	研究・学術情報委員長（理事） 吉沢豊予子

申込は4月22日（月）正午  
から開始！ 詳しくはウェブ  
サイトをご覧ください。

**参加費** 会 員: 2,000 円  
非会員: 3,000 円